

中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた
地域の支援団体育成・強化事業
公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	一般社団法人 ひろしま防災減災支援協会
代表者名	柳迫 長三
申請事業名 主題	明るく豊かな未来創造を「キッズ防災士」の養成と地域団体や企業の防災活動の支援
申請事業名 副題	災害関連死ゼロを目指す「キッズ防災士」養成を活用した地域防災の向上と企業の BCP 策定や防災マニュアルの実効性を高める。
エリア／テーマ	【広島県】 B コース:被災者支援専門組織強化枠
解決すべき社会課題	災害支援事業 1)子ども及び若者の支援に係る活動 ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 ④働くことが困難な人への支援 3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 ⑧安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	(1) 台風や集中豪雨などの災害によって毎年のように発生する犠牲者と災害による関連死の撲滅を目指し、地域の自主防災組織の育成研修会や防災訓練を行う。特に高齢化・過疎化した山間地域では避難率が低く、被災後のケアが届きにくい状況から、避難所の運営や被災者の復興支援が急務である。そこで広島県が「避難所開設・運営訓練アドバイザー」制度を発足させた。しかし、地震災害や大規模災害時は行政も避難所運営は長期になると地元で運営を依頼するようになることから、被災を免れた他県の自主防災アドバイザーなどの「災害中間支援組織」が連携し被災者支援にあたる。当然当協会も被災地へ駆けつけ被災者の支援を行う。 (2) 現在 幼稚園・保育園・学校などは、防災マニュアルを作成し避難訓練を行い、有事に備えている。しかし、地震・浸水・土砂災害など全国で発生する災害がその都度初めてで的確に対応することは非常に困難です。そこで、現在当協会が令和 4 年から始めた「キッズ防災士」養成講座をきっかけに、施設の職員や保護者を対象にした防災研修会や施設の BCP や避難確保計画のマニュアル見直しを手伝うことによって、地域住民や企業の防災知識の向上を目指しながら、地域特性や気象変動を考慮した計画が策定できるよう支援を進めて行く。 (3) 現在養成している「キッズ防災士」が年齢を増すごとに、社会参加も増えてきて、中学生(ジュニア)防災士の社会参加や中学校・高校での防災活動が活発化している現状から、報道機関や大学と連携した防災活動、例えば「推し活×防災」などを例示し、SNS を活用した防災活動を提案していく。
事業実施地域	広島県、岡山県
申請事業期間	(開始月)2023 年 7 月～(完了月)2026 年 3 月
申請助成額	3,439,200 円

	【内訳】直接事業費 1,282,700 円、管理的経費 2,156,500 円、評価関連経費 0 円
--	--

■ 審査コメント

- ✓ キッズ防災士の育成を通じた広域支援と理解した。
- ✓ 避難所の課題認識は合致している。
- ✓ 避難確保計画マニュアルみなし支援を通じて、地域特性も含めた課題への対応をめざす観点は評価できる。
- ✓ 避難所のニーズを把握できている。
- ✓ 被災者支援にも生かされると思いますが、防災意識の向上を主軸の活動と理解した。
- ✓ キッズ防災士が有効であるかどうか、現時点では不明。
- ✓ キッズ防災士育成、防災の専門性はあると思う。
- ✓ 広島市防災士ネットワークの活動を通じ事業の遂行に必要なスキルは有していると感じる。
- ✓ 中長期アウトカム、目指す体制などが不明確。
- ✓ キッズ防災士の活動を一つの柱とし、本事業によって更なる活動の活性化が期待できると思う。
- ✓ BCP、名簿の作成など確認が必要。
- ✓ 規模が小さいため、既存のものとの差別化をどうするか工夫が必要。
- ✓ 企業連携、次世代育成、広島県外への展開などを見据えてた活動ができるならば、新たな可能性が広がると思う。
- ✓ キッズ防災士の養成活動そのものが、事業の情報発信とリンクしていると感じるが、広報戦略は少し弱い印象。
- ✓ 防災士のネットワーク 130 人を生かせると良いと思う。
- ✓ 広島市防災ネットワークを含めた強力なパートナーの存在は大きいと考える。
- ✓ 現在の個人活動の延長のように見える。
- ✓ キッズ防災士活動は有意義なものだと思う。普及活動に防災士のネットワークや次世代の皆さんを巻き込んで組織基盤を強化し、全国普及をめざすなど、広がりを感じさせる活動だと思う。
- ✓ ヒアリングの中で儲からなくてよいとあった。また、調達したい金額規模も小さい。実行はできると思うが、その先いろいろ考えた時に、どれくらい効果があるか読み取れない。
- ✓ 本人の意思は固いので、休眠無くても継続するとは思いますが、伴走して、地域の団体を成長させてほしいと思う。
- ✓ 助成金を渡した後にどのように成長していくのか、それをフォローアップするのが大切なところ。計画のブラッシュアップや伴走支援などしっかりサポートしてほしい。
- ✓ BCP の記載があるが、実施できるのかどうか、やるかやらないか要確認。
- ✓ 申請事業は今実施していることの延長に見えてしまう。やるならもっとお金とって頑張してほしい気持ちがある。
- ✓ 実行可能性は悩ましく思っている。採択されるのならしっかり支援をしてほしい。